

美しくて明るく豊かなまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第107号



題字は岸信介先生書

2010年(平成22年)10月22日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査特別委員会 印刷/キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



グラウンド最後の運動会 (麻郷小 9月19日)

9月定例会	21年度決算を認定	2P
委員会レポート		3P
一般質問	地球温暖化防止対策等を問う	4P
議会だより	106号を読んでの感想です	9P

9月定例会

21年度決算 一般会計 55億2,977万円 特別会計 36億944万円 を認定



本 会 議 (9月9日)

町長報告

平成22年9月定例会は9月9日から17日までの9日間の日程で開催されました。本定例会では、町長報告4件及び決算1件、補正予算3件、人事1件、その他1件の計6件の町長提出議案及び委員会提出議案1件を審議しました。町長報告及び議案の審議結果は次のとおりです。なお、初日の本会議では、4人の議員が一般質問を行ないました。

○専決処分

損害賠償請求の訴えに対する和解。

○平成21年度基金運用状況について

○平成21年度決算に係る健全化判断比率について

○平成21年度決算に係る公営企業の資金不足比率について

町長提出議案

21年度決算認定

一般会計及び特別会計
一般会計の歳入総額は57億719万円、歳出総額は55億2977万円で

差引額(形式収支)は1億7742万円となりました。

歳入では、町税が前年度に比べ10%減の16億9835万円、地方交付税が地域雇用創出推進費等により1億707万円増の17億996万円、国庫支出金が定額給付金給付事業や地域経済対策により2倍以上の8億360万円となりました。歳出では、定額給付金事業及び経済危機対策による水道老朽管更新事業や防災行政無線施設整備事業、小型動力ポンプ積載車整備事業などにより前年度に比べ9186万円増となっています。また、特別会計5会計の歳入合計額は36億9617万円、歳出合計額は36億944万円で差引額(形式収支)は8673万円となりました。

【賛成11人・反対1人】

22年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億3511万1千円減額し、予算総額57億6592万6千円とするものです。

主な歳入

町税

5230万円減

地方交付税

8231万2千円増

国庫支出金

5273万9千円減

繰越金

9512万2千円増

町債

2億2646万5千円減

主な歳出

麻郷小学校校舎等改築事業

3億5610万7千円減

(平成23年度へ)

中学校用地購入費

3579万5千円

【全員賛成】

下水道事業特別会計

過年度工事に係る賠償金の増額補正です。

【全員賛成】

介護保険特別会計

前年度精算に伴う返還金及び介護給付費準備基金積立金の増額補正です。

【全員賛成】

その他

山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について

【全員賛成】

人事

教育委員会委員の任命

伊場恭子氏が本年9月30日に任期満了になるため、引き続き同氏を任命するものです。

【全員賛成】



伊場 恭子 氏

委員会提出議案

柳井地域広域水道用水供給事業に係る水道料金の安定に関する要望決議

【全員賛成】

委員会レポート



決算審査特別委員会 (9月13日)

決算審査特別委員会

「平成21年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置、9月13日委員会を開催し、慎重に審査しました。

歳入

Q個人町民税及び固定資産税の不納欠損処分は何件か。
A個人町民税3件、固定資産税3件で、固定資産税はいずれも会社倒産で処分が終了したものだ。

Q滞納繰越金が増えているが対策は。
A債権管理条例を制定したので、体制を作って取り組む。

Q町営住宅の不納欠損はどういうことか。
A時効の援用によるもの。

歳出

Q町が雇用する臨時雇いの賃金は、また、契約期間は。
A賃金は通常690円、契約期間は職種によって異なる。

Q敬老会について、町主催と社会福祉協議会行事と一本化できないのか。
A高齢者はどちらも楽しみにしている。

Q公害検査を減らしたの何故か。
A河川の検査については町が実施しているが、企業についてはそれぞれの企業が実施している。

総務文教



総務文教委員会 (9月16日)

総務文教委員会は9月16日に開催し、本会議にて付託された町長提出議案の予算関係1件、その他1件の合計2件を審査しました。

22年度一般会計補正予算

Q教育費について、明許繰越が継続費に変わった理由は。
A国の方針転換による。

Q大平簡易水道の修繕料があるが、水道企業団に吸収することはできないのか。
A認可区域に入っていない。

Q学校用地購入について、その他の用地購入交渉は。
A努力する必要がある。相手との合意と財政状況をみて行いが、非常に難しいと判断している。

Q新堀川の改修を県が行うというが。
A平成24年までには下水道幹線管渠との合流点まで行う予定。

経済厚生



経済厚生委員会 (9月15日)

22年度下水道事業特別会計補正予算

Q下水道工事で賠償金を請求されている暗渠排水は、以前からあったものか。
A以前から存在していた。

Q下水道の普及率が平成21年度3%しか上がっていないが。
A5年ごとに区域を見直し、公共下水道

と合併浄化槽とで整備を進めていく。
Q下水道認可区域の中で整備が何年もある地域があり、その地域では、合併浄化槽の補助がほしいとの要望もあるが。
A検討している。

見直し、公共下水道

経済厚生委員会は9月15日に開催し、本会議にて付託された町長提出議案の予算関係2件を審査しました。



9 月定例会
一般質問

地球温暖化防止対策等を問う

高齢者不明問題

田布施の実態は

清神 清

県の指示により確認 長信町長



清神 清 議員

Q 各地で百歳以上の高齢の不明者が続出し、社会問題になっているが、(1)田布施町での実態はどうか(2)戸籍が無いのに住んでいる実態があるが、どのように対処するのか。(3)個人情報保護法により情報が希薄になっている。広報たぶせに死亡等掲載の復活は出来ないか。

A (1)本年度中に百歳以上の方は11人いるが、全て確認済み。但し、戸籍上生存している不明者は199人いる(2)問題は無いが、住民登録をお願いしたい(3)平成17年5月から掲載していない。個人情報保護法の観点から、今後とも慶弔記事の掲載予定はない。

町道友石線

拡幅計画は

清 神

事業着手に向け検討 町 長



町道友石線

Q 田布施西小学校から新開橋までの450mであるが、広域合併協議会での道路整備計画等で道路拡幅など検討されていたが、未着手のまま現在に至っている。今後現行の通学路、交通量の状況などを勘案し、地元地権者との合意形成に努め、事業着手に向け検討したい。

Q PTA会長他2001名の署名を集め町道の拡幅の請願が提出され、その後採択となった。当時は合併特例債で実施する予定であったが、合併が実現できず、工事が未着手のまま、現在6年間放置されている。道幅が狭く交通量も多く、危険である。着工予定はあるか。

第五次総合計画

彼岸花の名所を 清 神

山口県一住みよい町へ 町 長



彼岸花の咲く風景

Q 第四次田布施町総合計画における施策の実施状況と評価を踏まえ、第五次計画検討委員会が3つの分科会にて協議されて

いる。その中で春は桜の名所として多くの方に親しんでもらっているが、秋の名所として彼岸花を植えて憩いの場としたいが計画実行できないか。

A 四季折々に楽しめる環境美化作りに取り組む必要がある。皆さんの意見を聞きながら彼岸花の移植を含め「行ってみたい町、行ってよかった町、住んでよかった町、住んでよかった町、住んでよかった町」と思える町、山口県一住みよいまちづくりを町民一体で目指したい。

借地の対応

買い取り計画は

国永美恵子

借地は個別対応

長信町長



国永美恵子 議員



田布施中学校

Q 行政改革の中で町有地の売り払いが行われているが、借地は返す、買い取るなど検討しているか。
A 中学校借地料は年間約1400万円。今後何十

年も借地料を払い続けることになる。町長が買い取りの意向なら低金利の今が良い時期。買い取り計画を尋ねる。

A 現在、町全体の借地料総額は約2290万円。借地取扱いはそれぞれ

個別に考える。全般についての検討はしていない。中学校用地は財政上の負担が大きく、できれば買い取りにより、借地を解消したい。地権者の意向と町の財政状況をみながら考えていく。

就学援助制度

充実を

認定基準変えない

尾崎教育長

国永

Q 平成17年度、三位一体の改革により準要保護の国庫補助金が廃止され一般財源化された。これにより、認定基準等の引き下げを行う自治体がある

あった。本町の基準と受給率の推移を尋ねる。

就学援助の主体は町であり、支給抑制があるなら元の基準にもどせ。

A 平成16年までの基準は生活保護費の1.3倍で17年以降は世帯の町民税所得割課税額を基準にしており、以前の基準よりは下がっている。
受給率は16年度約20%、17年以降は12%程度で減少している。議会でも認めてもらっており基準を変える予定はない。

予防ワクチン

公費助成を

国永

公費助成を行いたい町長

予防ワクチンが一人4〜5万円の費用が必要。予防ワクチンに助成を行う自治体もあり、国も議論していると聞く。本町でも公費助成を行うべきではないか。

Q 子宮頸がんは20才代の女性では発症率の一番高いがん。ウイルス感染が原因であり予防可能だが

A 子宮頸がんは、がんの中でも唯一ワクチン接種で予防できると言われており、接種費用は保険適用外で高額。県内では上関町が来年度から公費助成を行うと聞いている。
国の補助金の動向を見極め公費助成を行う。子宮頸がん検診の受診率向上にも努める。

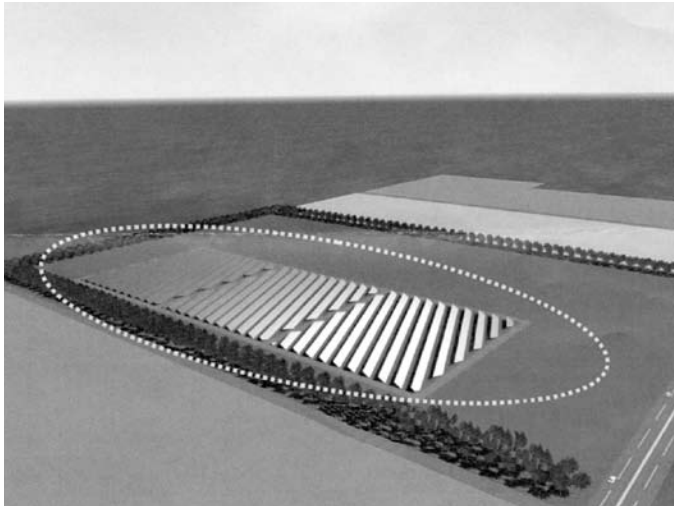
メガソーラー

誘致に取り組み

藤山 巖

総合的に検討したい

長信町長



メガソーラーのイメージ図 (中国電力提供)



藤山 巖 議員

Q 本町の平成22年度見込みでの町債や債務負担行為等の借入金残高は総額182億円にのぼる。喫緊の課題は税収をいかに増やすかである。そこで国は温暖化防止等の一環として電力各社にメガソーラーの導入を促しているが、誘致に取り組んでみる考えはないか。

A 国の「低炭素社会づくり行動計画」に基づき環境に優しい大規模太陽光発電の導入が図られるようになった。しかし、施設整備に広大な用地が必要なことから土地所有者の意向確認等が必要となる。勉強会等を行い、企業誘致の取り組みの中で総合的に検討してみたい。

町営墓地

抜本的な整備を

藤山

現時点で計画はない

町長



麻里府墓地

Q 麻里府地区の大峯山中腹に町営の墓地が設置されている。ところが墓地

は樹木に覆われ、未売地の区画は雑草が茂って判りにくい場所もある。また、水汲み場もなく駐車場も狭い。全体に未整備の感否めない。死者を葬る墓地に相応しい霊園に整備する考えはないか。

A 「田布施町墓地の設置および管理に関する条例」に基づき182区画の内62区画が売却済みである。墓地への進入路の凹凸や未売却区画には雑草雑木が繁茂している。しかし、土地の所有権又は管理権等諸々の問題があり、現時点で抜本的な整備計画は持っていない。

国営ほ場整備事業

初年度のほ場は

藤山

12月に確定する

町長

Q 長信町政の最重点施策である国営緊急農地再編整備事業が、いよいよ来年度から始まる。国の財政難の下での事業だけに、参加農家は一抹の不

安を懐いている。初年度の来年は南周防地区のどのほ場から事業に着手するのか。また、その時期はいつになるのか。

A 農林水産省の来年度予算の概算要求に南周防地域のほ場整備事業が組み込まれており期待している。この事業の町内ほ場は8団地であるが、どの団地から工事に着手するかは事業主体の国が判断する。政府予算案が確定する12月中には工事箇所も示されると思う。

エコドライブの10のすすめ

- 1 ぶんわりアクセル〈Eスタート〉
- 2 加減速の少ない運転
- 3 早めのアクセルオフ
- 4 エアコンの使用を控えめに
- 5 アイドリングストップ
- 6 暖機運転は適切に
- 7 道路交通情報の活用
- 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 9 不要な荷物は積まずに走行
- 10 駐車場所に注意



林山 健二 議員

普及を図る

長信町長

町全体で推し進めては 林山 健二

エコドライブ

Q 地球温暖化防止が叫ばれ全世界で取り組んでいる。経済産業省や県安全運転管理者協議会が推奨している「エコドライブ10」を本町全体で推し進める事を提案する。エコドライブにより、少し気を付けるだけで燃費が良くなる。私も実行し10%近く向上した。

A エコドライブの推進は燃費の改善、交通事故の防止にも効果があり、注目されている。広報で普及、啓発に努めている。関係機関と協議して、認知・理解を深める情報提供に努め普及を図る。



役場庁舎屋上の高架水槽

公共施設の高架水槽

撤去を

林 山

検討する

町 長

Q 公共施設に高架水槽や受水槽が設置されている。柳井広域から受水を始めてから水道企業団の水圧は十分あると聞く。受水開始から10年近く経過している。水槽を設置すれば、清掃、水質検査、送水ポンプと経費が必要。不必要な受水槽、高架水槽の撤去を考えないか。

A 庁舎、小中学校で4箇所設置している。建設当時、水圧不足の解消、停電時の水供給等で設置した。東田布施小学校は改築の時、給水管を増径し直圧とした。麻郷小学校も高架水槽は設置せず直圧とする。高架水槽の具体的な廃止計画はないが検討する。

一部事務組合レポート (田布施・平生水道企業団)

7月15日田布施・平生水道企業団議会は弥栄ダムの視察研修を行った。参加議員は全員(田布施町3名、平生町3名)であった。当日は大量の雨が降った直後でダムには満々の水が蓄えられていて、水量調整のため放水中であった。ここから数箇所の中継所を経て柳井市日積の貯水槽に至るまでのルートを見学した。弥栄ダムからは1日約5000トン(総水量の52%にあたる)の水を購入している。これにより渴水期の水不足が解消できている。しかし、建設資金の負担金返済や責任水量への支払いが経営を圧迫していて、他に比較して高い水道料金となっている。



放水中の弥栄ダム

一部事務組合…地方自治法に基づき複数の普通地方公共団体や特別区が、事務の一部を共同で処理するために設ける特別地方公共団体。

視察研修受入



大分県玖珠町議会広報委員会 (8月27日)



福島県猪苗代町議会 (7月6日)



群馬県邑楽郡町村議会議長会 (9月28日)



熊本県和水町議会 (8月5日)

7月から9月にかけて、福島県猪苗代町議会、熊本県和水町議会、大分県玖珠町議会、群馬県邑楽

郡議長の視察研修を受入れました。研修は、議会の活性化や議会広報の編集について、それぞれの現状を説明し、今後の課題など活発な意見交換を行いました。

て、それぞれの現状を説明し、今後の課題など活発な意見交換を行いました。

議会だより

106号を 読んでの感想です

M・Mさん (60歳代男性)
表紙写真の「願いを込めて」は実に純朴で何ともいえない爽やかさを感じます。願いを込めるこの気持ちを持ち続けて成長して欲しいものです。

本号では提出議案、委員会レポート、一般質問と各項毎に状況写真が掲載され、題目に対するQ/Aも一目瞭然レイアウトの工夫とともに読みやすい構成がされていると思います。

一般会計補正予算が追加され、総額59億余円、厳粛財政の中での健全化は最重要課題でもありません。何れにせよ、町民に直結する諸問題の提起やそれに対する対策の推移は紙面を通してしっかりと見極める必要があります。

N・Kさん (50歳代男性)
季節の歳時を実感する表紙の写真は、殺伐とした生活から、ホッとする場面を戻してくれそうです。2・3ページの本会議・委員会のお決まりの写真で殺風景で無機質な場面のように感じ、質疑

の熱弁・真剣さや審議に
関連する現場・現実を想像できる臨場感あるカット写真になりませんかでしょうか。
さて、今年度は補正を含め59億円の予算は、数値上の計算は町民の一人当たり、37万円に近い多額になる。以前の私なら、その額に何の実感もありませんでしたが、「議会だより」の各号を継続的に読んで行くと、個人、家族、地域において、現在・将来に向けて多岐多様に渡り、直接的、間接的に恩恵を得ている事が感じられます。

K・Kさん (60歳代男性)
今回「議会だより」のモニターになりました。今まであまり興味がありませんでしたので「議会だより」を読んでもピンときません。早い話が「面白くない」のが本当の気持ちです。質問を読んでも、町長さんや、教育長さんに言うより「行って言った方が速いのではないか」と思う質問もあります、議員さんの

質疑内容に町民の皆さんの期待がかかっています。暑い時ですが議員さん頑張ってください。
T・Hさん (40歳代女性)
議会モニターとして、初めて感想を述べさせていただけます。私も前号の感想を書かれた方と同じ気持ちです。三ヶ月に一回の定例会でほぼ同じ方しか質問されていていけません。もつと他の方もご意見された方が、活気ある議会だよりになると思います。政治に関してあまり得意な方ではございませんが、今回の郷土館の「新しい運用方法」の感想を述べさせていただきます。スペースの問題や予算の関係もあると思いますが、役場の一角に収蔵民具の動体展示や体験コーナーを設置すれば、たくさんの方に田布施町の歴史を知ってもらえるのではないのでしょうか。表紙のタイトルのように現在よりも住みやすい田布施町になるよう「願いをこめ」……。

7月29日、議会広報広聴モニター懇話会を議員控室にて開催しました。出席者はモニター7名、広報委員6名、議長、事務局長の15名でした。会では日頃、議会だよりに対して感じておられることなど、様々な意見や要望が出され、大変有意義な懇話会でした。

●モニター懇話会●



モニター懇話会 (7月29日)

7月29日、議会広報広聴モニター懇話会を議員控室にて開催しました。出席者はモニター7名、広報委員6名、議長、事務局長の15名でした。会では日頃、議会だよりに対して感じておられることなど、様々な意見や要望が出され、大変有意義な懇話会でした。

熊毛郡広報連絡協議会



郡広報連絡協議会研修会 (10月8日 上関町)

10月8日、上関町中央公民館において、熊毛郡広報連絡協議会が開催されました。
田布施町、平生町、上関町3町の議会広報委員が出席し、それぞれの町の議会広報を批評しながら、より良い広報づくりのための研修を行いました。



煙りの威力に驚き

林山 健二

最近、私は煙製を楽しんでいる。煙製といつても私の取り組んでいるのは簡単に手間の掛からない練り製品を利用、時間も1時間程度、蒲鉾、竹輪、ソーセージなどである。仕事柄、煙製釜も自分で製

作、チップも調べてみると色々、桜、なら、りんご等が一般的のようだ。ホームセンターで販売されているが私は色々な木を調達し、電気カンナでチップ造り。どの木の香りが合うのかまだ分からない。安価な蒲鉾も少し水分が飛び弾力が増して歯ごたえも十分、煙の香りでなんとともいえない高級品に早変わり。晩酌のつまみに最高。煙の威力に驚いている今日です。

議員リレー随筆



彼岸花

藤山 巖

秋の訪れと共に我が家の裏の田圃の畦に彼岸花が咲く。今年のは猛暑の所為か開花が遅いようだ。山口県薬剤師会発刊の「やまぐちの薬草」に依ると全国に500以上の方言

名があり、多くは仏事や毒性に因んだ呼び名とある。根元の鱗茎を誤って口にすると嘔吐や下痢、重症になると死に至る例もあるとのことだ。この有毒植物を詩情公園対岸の土手に植栽したらの意見があるが、選定には慎重さが肝要だ。兎も角も、彼岸花は畦道に咲いてこそ、人々に称美され瑞穂の秋の田園風景を演じつづけるのではないだろうか。

町議会実務研修会

7月23日、山口市「山口県教育会館」にて町議会実務研修会が開催され、本町議会からは11名が出席しました。

講師は財団法人地域開発研究所研究員牧瀬 稔氏で、「議員が提案する政策条例のポイント」と題して議員が提案した条例について様々な事例を挙げ、今後の議会活動に生かせるようポイントを解説されました。



議会実務研修 (7月23日)

山口県町自治研修会

9月30日、山口市「セントコア山口」にて山口県町自治研修会が開催され、本町議会からは8名が出席しました。

講師は政治ジャーナリストの河崎曾一郎氏で、「政局の展望と選挙と世論」と題して現在の政局展望や選挙・世論の分析についてご自分の経験など織り交ぜて興味深く語られました。



自治研修会 (9月30日)

編集後記

今年は記録的な猛暑の夏だったが、9月定例会が終わってもまだ秋の気配がやって来ない。そして例年なら台風が上陸する季節だが、今年の台風の進路はいつもと違う方向へ向って行く。ゲリラ豪雨の多発等異常気象を感じさせる。

そんな中、小中校の運動会が行われた。子ども達の元気な姿が見れた。昭和30年代の運動会はとて涼しく、秋の季節を満喫できた。しかし、現在は暑くて熱中症の注意が必要だ。

運動会が終わると麻郷小の校舎の建設が始まる。工事期間中、生徒には色々不便があると思うが、新しい校舎での生活がどんなものになるか楽しみである。

107号が皆様に届く頃は涼しくなっていることを願う。

議会広報委員